

# お誕生おめでとう

赤ちゃん	性別	出生月日	父	母	地区
山脇 梨菜	女	9.5	大吾	菜月	㊤ 宮前町
富永 柚葉	男	9.5	輝男	世莉	㊤ 秦山町3
中村 宇李	女	9.5	享平	唯名	㊤ 宝町1
中村 光希	男	9.11	博文	美由紀	㊤ 追廻し
福留 百香	女	9.12	進吾	梢	㊤ 本田
嶋矢 樹	男	9.13	光	茜	㊤ 北本町上1
松田 唯花	女	9.18	享也	亜紀子	㊤ 北本町1
山口 絢士	男	9.18	智大	珠映梨	㊤ 植
戸田 康太	男	9.23	隆之	絵麻	㊤ 谷相
小松 琥生	男	9.27	琢巳	絵梨子	㊤ 百石町2
吉川 征那	男	9.28	孝	しのぶ	㊤ 北組西
高瀬 璃海	女	9.28	大希	聡美	㊤ 宝町3

## 木材市況

10月5日 第323回市(物部)  
9月28日 第84回市(香美)

材長	樹種	スギ(円/m)		ヒノキ(円/m)	
		直・小曲	曲	直・小曲	曲
4m	12cm下	9,000	9,000	11,000	10,000
	13cm~14cm	9,000	9,000	14,900	10,000
	15cm~16cm	11,000	9,500	20,000	15,500
	18cm~22cm	13,500	12,000	17,500	15,500
3m	12cm下	8,000	8,000	10,500	9,500
	13cm~14cm	8,000	8,000	11,500	9,500
	15cm~16cm	13,000	9,500	18,500	14,500
	18cm~22cm	13,500	12,000	17,000	14,500
2m	20cm上	8,500	8,000	9,000	8,500
6m	18cm~22cm	18,000	16,000	25,000	23,000

物部 市況  
スギ、ヒノキ共に小径木は横這い、15cm上から元類まで小幅高。ヒノキの15~22cmは直材になるように造材し、低質材は共に4mの造材をお願いします。

香美  
スギ・ヒノキ共に3m4mで直材になるような造材が有利。曲が入る場合は4mで。ヒノキは不足気味。伐採後は早めの出荷をお願いします。

営業時間  
月曜日～金曜日 8時～17時(祝祭日休み)

なお、上記の単価は1㎡あたりの平均単価です。  
【問い合わせ先】  
物部森林組合ストックヤード  
(物部町中谷川314) ☎57-3540  
香美森林組合国見支所/繁藤ストックヤード  
(土佐山田町繁藤140-7) ☎57-9114

## ご冥福をお祈りします

お名前	性別	亡月日	享年	地区
明石 一	女	9.1	85	㊤ 根須
松本 正美	女	9.2	95	㊤ 永野
原 讓	男	9.2	84	㊤ 県住
谷内 玄治	男	9.3	84	㊤ 押谷
岡本 武章	男	9.5	88	㊤ 安野尾
小野山 忠	男	9.5	87	㊤ 上改田
野地 春子	女	9.6	92	㊤ 百石町1
岡林百合子	女	9.7	83	㊤ 北本町3
山崎伊勢野	女	9.7	81	㊤ 西山崎
小松 アキ	女	9.11	98	㊤ 菲生野
野中ヤス子	女	9.13	88	㊤ 神池
恒石 輝枝	女	9.14	97	㊤ 佐敷
岡本 浅野	女	9.14	89	㊤ 岡ノ内
小椋 一男	男	9.14	83	㊤ 八王子
明坂 光子	女	9.15	91	㊤ 県住
中澤 美晴	女	9.17	70	㊤ 北本町上1
武内 アキ	女	9.18	90	㊤ 中組
楠目 千恵	女	9.22	94	㊤ 中村3
山本 強喜	男	9.22	87	㊤ 神池
千頭 末	女	9.23	87	㊤ 永野
岡本 榮	女	9.24	85	㊤ 有瀬
吉川 光子	女	9.27	90	㊤ 永野
明石 慶喜	女	9.28	101	㊤ 根須

※地区名の㊤は土佐山田町、㊤は香北町、㊤は物部町です。  
※ご家族の同意をいただいた方のみ掲載しています。

## 市の人口

平成30年10月1日現在

総人口	26,363人	男	12,363人	女	14,000人
前月比	16人		15人		1人
山田	20,092人	香北	4,480人	物部	1,791人
前月比	36人		-9人		-11人
世帯数	13,090世帯	転入	56世帯	9月 出生	11人
前月比	23世帯	転出	19世帯	届出 死亡	33人



【短歌】  
岡崎 桜雲 選

デイサービスに母を見舞へば忘れたるわが名も呼びて歌ひき”ヨサコイ”  
秋雨がだんだん茜つれて来る演歌聞きつつ古里恋うる  
父母の植えし銀杏は年毎に実をつけて待つ枝垂る程に  
この時を過ごす汝とのひとときや窓にはつ夏の並木すがしく  
八十路来てハウスに上り修理する「てんごすな」の声の気配が  
父母のわだちが続くみかん畑角を曲がれば彼岸花咲く  
にぎやかな声こだませる浴槽に柚子浮かべ入りし遠き日偲ぶ  
買いくれし子に車椅子押され行く「葉すぎるね」と店内巡る  
我が村の七八は現役で九十過ぎれば後期高齢  
誰がために咲くや秘境の吾亦紅風とたはむれ星としたしむ  
花園を夢に見ながらコスモスの時間を見つつ仲間で種蒔く  
にんにくを植つる手指のためなさりウマチは季の移りに敏し  
介護とは尊き仕事と思ふかな足腰痛む時はあれども  
金婚式紙面に従弟の笑顔あり苦難乗り越え寄り添い来しよ  
精霊は灯籠に乗り帰り行くデイスコダンスで見送る祭り  
妹の八人の孫は伸びざかり巢立つ子進む子稲刈る子らも  
育成センター生活指導の先生は張りきりてゆく山びこの帽子とともに  
ランドセル背にかけて行くこの児等に平和がつづけ光り輝け  
久々にアルパムひらき懐かしむ若き日思う時を忘れて  
黄金色に波うつ広田の中を行くわが残生に思いを馳せて  
草出づるホタル見えねど西空にわづかに保つ雲のくれなる  
北海道は未明の地震に死者も出る台風過ぎし九月六日

岡村 敏子  
岡本 初美  
小松 敏子  
坂上のぶ子  
畠山 千江  
原 茂  
中村 紫乃  
盛岡 雛子  
森本 幸美  
山崎 貴子  
五百蔵利美  
大岸由起子  
小原 子川  
楮佐古きよ  
森本早智男  
前川 竜女  
高田 清子  
公文 千恵  
谷内 務  
吉本 悦子  
小松もとみ  
伊藤 清子

崩落の土砂に埋もれるわが家に呆然と立つ人をわれら見るのみ  
静もりし峡に読経聞く吾に鴉は木の上鳴かずに見てゐる  
握って開いて指の体操しておれば血行よくなりゆくを覚える  
いつか見た植物園のランの花ふいに通りぬ今朝のまどろみ  
豪雨あと早く清みたる片地川若アユ数多苔を食みおり  
一本と言いきる姑に白こと六本売りつけし竿竹売りの通れば思う  
「あたたかいご飯がおいしい」とそつと笑む災害の痛み胸にさしくる  
ひと仕事の後はテレビにかじりつく夫の周囲に掃除機這わす  
彼岸花の花茎けさはぐんと伸び秋雨前線停滞せる中  
もくもくと土に生き来て年重ぬ雨音ききつつ夕餉の支度す  
夏草の中に山梔子の匂い立つ一時休み汗をぬぐいぬ  
広報にきみの短歌のなかりしがきみ元気がとなつかしき声  
豊作とて届けられたるキウリの山佃煮つくりて酷暑をしのぐ  
落成式に市長のまきめる餅ひろう八十五歳歓声あげて  
虫喰ひは無消毒の証とぞ一筆添へて間引菜置ききぬ  
昨今は忘れぬうちに天災がやって来て来ている何の咎かと  
緋牡丹は花びら解れ膨らみて黄の蕊と朝の目を浴ぶ  
星残る紫紺の空に雲はしる無声映画のごとき速さで  
庭に出て四季折々の花と木に日々の雑音の心を癒す  
痛む背をかかめて靴を寄せるおがたま匂ふか茶の古き友  
空高く枝繁らせて大榎祠を覆い風とたわむる  
一月や二月の話口にして笑うどころか鬼は爆笑  
涼風に英気をもらい精を出す刈っても刈っても一面の稗  
休憩のアイスコーヒーしみわたる歩こう会の帰りの道で

佐竹 玲子  
都築 初代  
古谷 由美  
宮地 亀好  
小松 信子  
武内 弘子  
古川 安子  
大石 綏子  
林田 幸子  
松中 賀代  
竹村 咲子  
小松 禮子  
門田 明子  
公文 正子  
劉谷美代子  
岩井 純子  
秋 星  
寺内 啓子  
町 耿子  
明石 敬恵  
吉川 恵  
中村 佐代  
野村 典子

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲載月の前月1日までに、ご応募ください。  
【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係  
〒782-18501 (住所記載不要) FAX 53-5958